

こんにちは。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」のお勧めにまいりました。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※「しんぶん赤旗」日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。電子版3週間無料お試しキャンペーン中です。週刊の「しんぶん赤旗」日曜版は、1カ月990円です。ぜひ、お読みください。

●能登半島では、大地震に加えて豪雨という二重の災害で、かつてない被害が出ています。政府の本腰をいれた支援が必要です。住民が中心の復旧・復興に全力をあげる日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「しんぶん赤旗」の裏金スクープが、今年の総選挙で与党を過半数割れに追い込み、政治を動かす決定打になりました。大手メディアとは違う、忖度なしの報道を貫く、日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●企業・団体献金は、政治をカネで歪める、事実上の賄賂です。企業・団体献金を禁止して、裏金政治を一掃しましょう。金権腐敗を徹底追及する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※

●阪神・淡路大震災から30年。住宅再建への支援など、被災者の運動による前進もあります。しかし、避難所の状況は変わらず、災害関連死を防げないなど、政府の責任は重大です。被災者の視点を貫く「しんぶん赤旗」を、お読みください。

●生きていくのに最低限必要な収入には税金をかけない。これが、税金の本来の在り方です。消費税は、廃止をめざし、ただちに5%に減税しましょう。消費税の減税・廃止を求める「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●大学の学費値上げラッシュが起きています。総選挙ではすべての政党が負担の軽減を公約しました。政治の責任で学費値上げをストップさせましょう。「学費ゼロ」をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●軍事に軍事で対抗する悪循環は、戦争の危険を大きくします。日本共産党は、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくる「東アジア平和提言」を提唱しています。平和を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本被団協のノーベル平和賞の受賞は、核兵器廃絶を求める運動と世論こそ、核兵器を使わせない力であることを示しました。日本も核兵器禁止条約に参加すべきです。核兵器廃絶をめざす、「しんぶん赤旗」をぜひ、お読みください。

●5年間で43兆円も軍事費をつぎ込む自公政権。ばく大な赤字をつくり、国民生活を圧迫する、無責任な放漫財政です。責任ある財源論とセットで、暮らしを守る積極財政を提案する、日本共産党の「しんぶん赤旗」を、お読みください。

※

●性暴力をなくす。男女の賃金格差を是正する。選択的夫婦別姓、同性婚を実現する。社会を前に進めるための当然の課題です。ジェンダー平等社会をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「マイナ保険証」ごり押しが、国民の不安と医療現場の混乱を大きくしています。これまでの健康保険証を、ずっと使えるようにしましょう。「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本の食料自給率は38%。去年はコメ不足が問題になりました。食料の安定供給に、政府が責任を果たすべきです。農業を基幹産業と位置付けて、担い手を応援する日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●囲碁・将棋の新人王戦は、プロ棋士の登竜門として注目されています。囲碁の有力遼名人、将棋の藤井聡太七冠も新人王経験者です。新人王戦を主催する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本共産党がめざす社会主義・共産主義の社会は、人間の自由が全面的に花開く社会です。資本主義の矛盾、限界を乗り越えて、人間が人間らしく生きられる社会です。日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※くり返し